

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 美河地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「三石町田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

豊かな森林、清らかな河川、広大な牧場、海やそこに住む動植物など、すぐれた自然環境に恵まれている。

【課題】

現状の豊かな自然環境を保全し将来にわたって存続していくことが課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》（「三石町田園環境整備マスタープラン」より）

- ・ 施設等の整備に際しては、現状の自然環境を十分にわきまえて実施し、必要に応じて環境配慮の5原則に沿った措置を講じる。
- ・ 自然環境を生かした環境保全に資する施設整備や環境への負荷が少ない社会基盤整備の推進を図る。
- ・ 『自然環境とふれあいの場の整備』、『農村美化活動の推進（農村景観の保全）』、『景観地のネットワーク化』などの取組の推進が必要

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、国の天然記念物であるクマガウラをはじめとする多様な動植物が生息、生育している。

このため、本事業における工事の際にはこれらの生息、生育環境への配慮を図る。

《取組内容》

○生態系への配慮

- ・ ダム及び頭首工の整備にあたっては、希少な鳥類の営巣が確認された場合には、繁殖への影響を避けた工事実施時期を設定する。
- ・ ダム及び頭首工の整備にあたっては、河川に生息する魚類に配慮するため、締め切り内からの排水に対し濁水処理施設を設け、河川の水質悪化を防止する。